

# ひ お き

# 2008. 6

Vol.38

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

## 主な記事

- 多重債務に陥らないために ..... 2
- 消防ひおき ..... 4
- 自治会長を紹介します ..... 6
- バランスシートを作成しました ..... 8
- まちの話題 ..... 10
- 市民の広場 ..... 18



# あきらめないで!

- 返済できる計画が立たないお金は借りないようにしましょう。
- 金利、手数料、毎回の支払額、支払総額を必ずチェックしましょう。
- 限度額までだからと、安易にキャッシングしないようにしましょう。
- 友人、知人に頼まれても、安易に借金の保証人にならないようにしましょう。

## ○多重債務に陥らないために 注意すること!

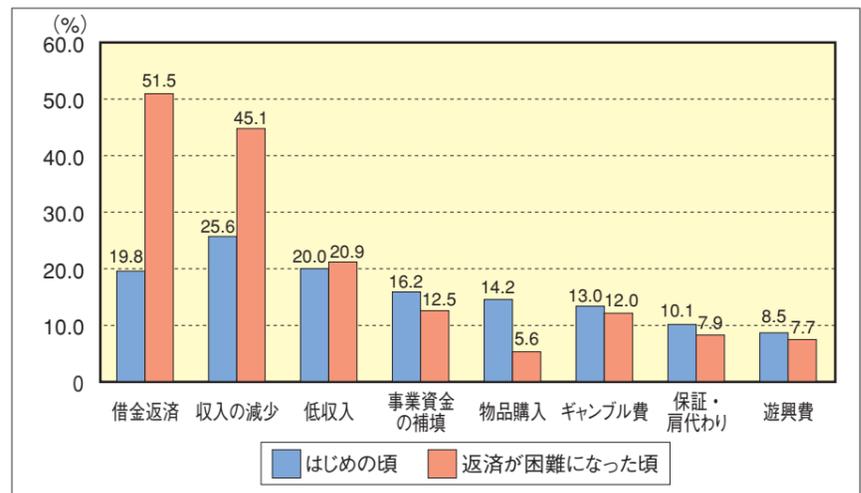
裁判例によれば、このグレーゾーン金利は無効であると解釈され、原則として支払う必要はありません。貸金業者からお金を借りた人が、利息制限法を超える利息（元金に応じて十五〜二十パーセント以上）を払い続けている場合は、過去の取引を利息制限法の利率で計算し直すことにより、過払い金を借入額に充当して元金を減らすことができます。さらに、過払い金が借入額を上回っている場合は、その差額分を返還してもらえらる場合もあります。

# 借金は解決できます

## ～ 深刻化する多重債務問題 ～



借金をしていることは恥ずかしいことでも後ろめたいことでもありません。しかし、返せると思っていたお金でも計画性のないクレジットカードの利用や生活費を補うための借金など、一回で終わらせるつもりが、便利さ、手軽さからまた借りてしまい、返済のために複数の業者から借金をし、雪だるま式に借金が増え、「多重債務」に陥るケースが増えています。日置市では平成十九年度に多重債務に関する相談が二十二件寄せられています。



資料：国民生活センター「多重債務問題の現状と対応に関する調査研究」(2006年)

### ○借金返済のための借金はしない

消費者金融利用者の借入の理由をみると、はじめの頃に比べ、返済が困難になった時期は「借金返済」が多くなっています。返済困難な状態を回避するために借金をするのは解決にならず、逆にもっと苦しい状態に陥ってしまいます。

## ○多重債務に陥ってしまったら

万が一、自分の収入で借金を返済できない状況になっても、安易に返済のための借金をしてはいけません。困ったときはひとりで悩まず、相談してください。日置市役所商工観光課(099-273-2111)または、多重債務相談機関に速やかに相談し、解決策を立てましょう。多重債務相談機関には、次のような団体があります。

**【多重債務相談機関】**

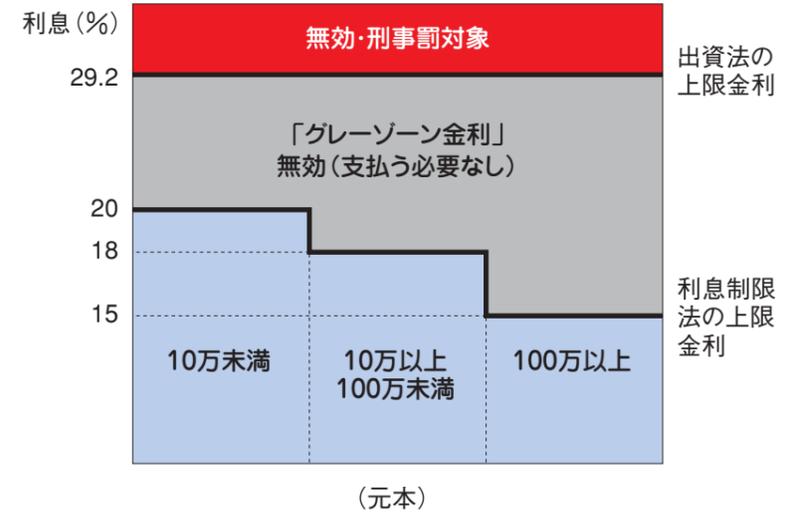
- 鹿兒島県弁護士会  
099-226-3765
- 鹿兒島県司法書士会  
099-256-0335
- 鹿兒島県サラリーマン金融苦情相談所  
099-223-6832
- 九州財務局鹿兒島財務事務所  
099-227-5279

## ○悪徳商法!

あなたが狙われている  
消費生活相談窓口へ寄せられる相談は、

## ○グレーゾーン金利の 支払い義務はありません

お金を借りた場合の利息については、「利息制限法」と「出資法」という二つの法律があり、「利息制限法」では借入額に応じて十五〜二十パーセント、「出資法」では二十九・二パーセントが上限となっています。この上限金利の差の部分がグレーゾーン金利と呼ばれています。



年々複雑かつ多様化してきています。日置市では平成十九年度に、百二十四件の相談が寄せられました。

このうち、六十五歳以上の高齢者からの相談は二十八件で、消費者トラブルに結びつきやすい訪問販売や電話勧誘販売などの相談が半分以上を占めています。高齢者は3つの大きな不安「お金」「健康」「孤独」を持っていると言われています。悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあり、親切にして信用させ、年金・貯蓄などの大切な財産を狙っています。また、高齢者は自宅に多くの被害が多い訪問販売や電話勧誘販売による被害が多いのも特徴です。

トラブルに遭わないためには、きっぱり断ることが重要です。おかしいと思ったらひとりで悩まず相談してください。

**【消費生活相談窓口】**

- 本庁商工観光課 273-2111
- 東市来支所地域振興課 274-2111
- 日吉支所地域振興課 292-2111
- 吹上支所地域振興課 296-2111

※祝祭日を除く毎週月・水・金曜日は、消費生活相談員が対応します。(本庁商工観光課)

# 普通救命講習会

応急手当を身に付けよう!



もしものときのために心臓マッサージなどの普通救命講習を受講しませんか。

市民の皆さんから希望があればいつでも救命講習の指導を

しています。ぜひ受講してください。

グループでお申し込みいただければ講習に出かけて行きます。

従来の講習にAED（自動体外式除細動器）についての内容も加えた講習になっています。

3時間以上受講された方には「講習終了証」を発行します。

お申し込みお問い合わせ

日置市消防署 TEL272 - 0119（救急係）

# 水難事故



- ◎危険な場所や子供だけの水遊びをさせない。
- ◎危険な場所や子供だけの水遊びを見かけたら他人の子でも注意をする。
- ◎水泳中や水遊び中、子供から目を離さない。
- ◎浮き輪を使っているからと安心しない。
- ◎自宅の近くで遊んでいるからと安心しない。
- ◎自宅の中でも風呂場などで遊ばせない。

# 夏は「熱中症」による脱水症状にご注意を!

消防  
ひおき

夏場、注意しなければならないのは、「熱中症」による脱水症状です。

まず「熱中症」とは、日射病・熱けいれん・熱疲労・熱射病の4つからなる、暑さや熱による生体の障害の総称です。

暑いと人間は汗をかきますが、このとき水分や塩分は体外へ出て行ってしまいます。脱水症状を起こすと、頭痛・吐き気・めまい・体温上昇・脱力などの症状があらわれ、症状がひどい場合は、意識障害により危険な状態になることもあります。

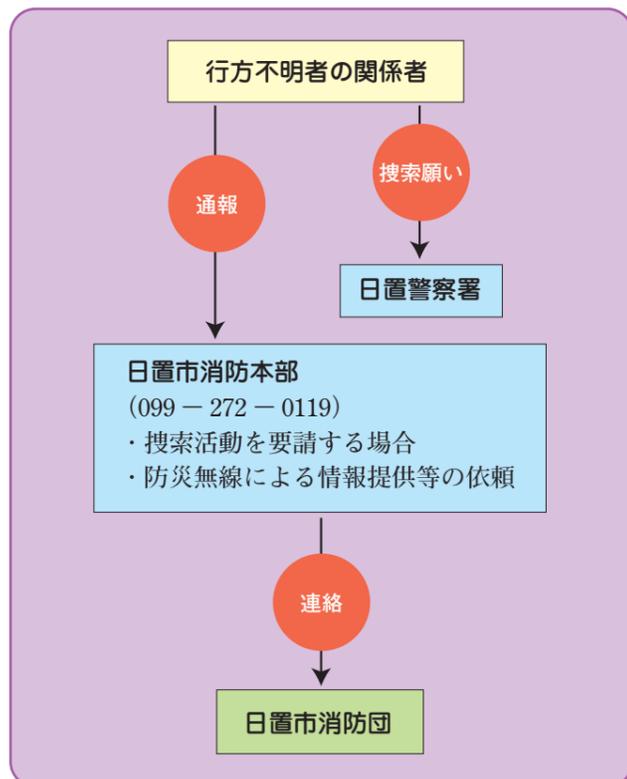
長い時間、炎天下で作業や運動をしないようにするのが一番ですが、もし行う場合は次のことに注意しましょう。

★ 外では帽子をかぶり、こまめに水分をとる。スポーツドリンク等で、糖分や塩分、ミネラル等も同時に補給しましょう。また寝不足や疲労を感じた時は、無理をしないようにしましょう。

★ 楽な状態で安静を保ち、衣服をゆるめたり脱がせたりして身体を冷やす。また、風通しのいい日陰など涼しいところで休ませる。



# 行方不明者が発生した場合は



# 鹿児島県救助技術指導会



5月30日に東市来町の鹿児島県消防学校で、第31回鹿児島県消防救助技術指導会が開催され、日置市消防本部からも5種目に14名が参加しました。

# 住宅用火災警報器って知っていますか?

住宅用火災警報器は火災により発生する煙を自動的に感知し、音や音声で知らせるものです。



現在は住宅用火災警報器が義務設置になっています。全国的にも「住宅用火災警報器を設置していたので、火災を早く発見することができ、初期消火に成功した」という事例が発生しているようです。

もし、住宅用火災警報器を設置していなかったらどうだったでしょう。最悪の事態が想像されます。自分と家族の命や財産を守るため、住宅用火災警報器の早めの設置をお願いします。

2008年度全国統一防火標語

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

# 平成20年度 自治会長を紹介します!

## ◆東市来地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
桑木野	桑木野二雄	274-9646
尾木場	野上 貞夫	274-9651
郷戸	島田 益義	274-3376
野下	立和名利治	274-3690
高塚東	町田 二郎	274-6625
高塚西	立和名徳文	274-9833
鉾之原	鉾之原清志	274-6824
立和名	立和名太吉	274-6452
荻	米澤 正喜	274-9332
北山	北山 義寛	274-9755
上床	片平 勇作	274-6194
田代	石神 正明	274-6252
梅木	徳重 保典	274-6280
中野	永井 実満	274-3617
元養母	谷山 泰洋	274-1312
下養母	野元 正利	274-3805
麓上	永山 喜教	274-2769

自治会名	自治会長名	電話番号
麓下	永田 鉄山	274-4653
古市	有川 國廣	274-4939
城之町上	平松 利幸	274-3888
城之町	中村 三郎	274-3836
杉之迫	四元 碩朗	274-4572
坂之上下	幾留 治男	274-3694
美山上	田淵 斉	274-5067
美山下	尾上 豊志	274-0523
牧之角	宇都 義雄	274-3693
宮田	山下 四郎	274-1595
大平	脇田 敏秋	274-5192
皆田東	神田 暹	274-3882
皆田西	松尾 光裕	274-1309
丸牧	宮前 静哉	274-3406
上野東	石原 豊	274-0186
上野西	柳園 富甫	274-5755
向湯田	山元 登	274-0153

自治会名	自治会長名	電話番号
駅前	池満 隼人	274-2935
中央	國分 隆	274-2478
元湯	高須 眞一	274-4791
田之湯	山口 政夫	274-1768
堀内	南 宏機	274-1833
上伊作田	谷口 正巳	274-2629
元伊作田	早迫 利一	274-5895
中伊作田	肥塚 章弘	274-2527
柿之迫	横手 良和	274-4728
江口	神野 政士	274-2257
川北	吉田 徹	274-5153
平迫比良	濱崎 満洋	274-0297
赤崎	野村 幸雄	274-2878
鉦口	西田 正徳	274-5852
永山	浜崎 千尋	274-4064
神之川	永山 修治	274-5146
南神之川	丸野喜士雄	274-1509

地域のまとめ役として、1年間よろしくお願ひします。

住みよい地域づくりのためには、市民の皆さんの協力が必要です。自治会活動への積極的な参加をお願いいたします。

## ◆日吉地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
二湯	奥 正行	292-2693
山田	的場 勝	292-2535
日新	今別府利行	292-2976
熊野	谷山 宏明	292-3886
西郷	中原 攻	292-2913
日置麓	善福美智男	292-4648
帆之港	星原 質	292-2247

自治会名	自治会長名	電話番号
八幡	山口 義光	292-3230
柿之谷	久保 勲一	292-2483
諏訪	岡山 繁	292-4556
草見	松元 純市	292-4203
笠ヶ野	笠野 邦彦	292-2786
毘沙門	古垣 哲郎	292-4613

自治会名	自治会長名	電話番号
草原	牧内 重光	292-2436
北区	鳩野 學	292-2054
中区	春成 道夫	292-2749
南区	手塚 英司	292-4374
扇尾	上田平重夫	292-2368

## ◆伊集院地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
上方限	末永 義弘	272-2352
四郎園	福永 範夫	273-4566
下方限	正木 巖範	273-3558
麓東	中園 照志	273-3603
天神馬場	上村 良佑	272-3580
上之馬場	川越 信雄	273-5946
犬之馬場	石神 三郎	272-4430
元町	山口 清寛	273-1022
向江町	橋口正太郎	273-3525
中央通	家村 伸五	272-2815
駅前	徳留 秋輝	272-2009
銀天通	家村 紀弘	273-1650
出樋	岩永 啓義	272-2035
城山	浜田 盛遠	272-2689
荒瀬	前田 純正	273-1586
小城	坂木 保夫	272-3449
瀬戸内	渡邊 克業	272-3934
徳重東	酒匂 靖夫	273-2024
猪鹿倉	山口 徳二	272-5737
清藤	満留 純義	273-3749
郡上	節政 重行	273-5575
郡内	内 保正	273-1808

自治会名	自治会長名	電話番号
宮脇	吉永 昭己	273-6168
中福良	奥 祐義	273-1516
平古	向井 隆之	272-4603
郡下	林田 榮次	273-1801
大田上	西原 高晴	272-2563
大田中	入船 武久	273-1526
大田下	山崎 勝義	272-3790
久木野々	今村 福治	273-6567
飯牟礼下	松元 敏明	272-5545
腰	川 崙 進	273-2897
善福	益満 富治	273-6791
飯牟礼上	宮川 善徳	273-3924
飯牟礼中	本村 敏英	273-6866
古城	片板美津男	273-5993
恋之原	宮園 信夫	273-6454
下土橋	上平田耕和	272-3109
上土橋	坂上 俊美	273-9603
中川	上 菊男	273-9228
竹之山	馬場園健誠	273-9165
麦生田下	吉村 建二	273-1970
麦生田中	藤松 劼	273-5390
麦生田西	丸田 逸郎	273-2255

自治会名	自治会長名	電話番号
麦生田東	林田 秀雄	273-9346
上神殿	柳田 秀吉	273-9783
中神殿	内 豊光	273-2367
下神殿1区	梶 英雄	272-4690
下神殿2区	北之園重遠	273-1355
下神殿3区	有馬 大作	273-2774
下神殿4区	南園次郎吉	272-5434
桑畑	重留 静	273-5438
野田	畠中 千秋	273-3405
寺脇	小山田 恵	273-5090
朝日ヶ丘	橋口 勇	273-3990
立野	神代 崇史	273-0588
妙円寺1区	松元 邦弘	273-6366
妙円寺2区	田中 輝雄	273-2096
妙円寺3区	今村 兼裕	273-6983
妙円寺5区	山下穂八郎	272-3795
妙円寺6区	松元 健二	273-0417
妙円寺7区	常深 勇	272-5894
妙円寺8区	平 美治	273-5620
妙円寺9区	福永めぐみ	273-4293
つつじヶ丘1区	坂口 勝昭	273-3208
つつじヶ丘2・3区	前田 唯男	272-0516

## ◆吹上地域自治会長

自治会名	自治会長名	電話番号
西本町	満留寿五郎	296-2028
東本町	原田 昌作	296-2635
坂元	竹内 正信	296-4751
多宝寺	黒川 勝美	296-3723
ふもと	池上 成年	296-3718
小牧	渡江 和雄	296-2858
北湯之元	下村 俊治	296-5177
南湯之元	田原 嘉治	296-4067
緑ヶ丘	登尾江美子	296-4766
窪田	有村 一人	296-3212
宮坂	濱田 修	296-4095
上中之里	大木下 光	296-3828
下中之里	山下 正成	296-5072
南宮内	鳥越満壽夫	296-2238
東宮内	平峯 健蔵	296-1850
西宮内	畠中 幸輝	296-3602
中津	野入 弘良	296-4526
亀原	井上 克己	296-3881
花熟里	原口 三善	296-5123
小野浜	岩元 巖	296-6578
小野馬場	田畑 則雄	296-2466
小野	坂上 晃一	296-5405
下田尻	下村 盛義	296-5953

自治会名	自治会長名	電話番号
中田尻	堤 宏治	296-5719
上田尻	井之上作次	296-5155
芋野	堀之内美智子	296-5757
野首	原口 四海	296-3348
下与倉	山口 克佳	296-3671
藤元	四元 久美	296-2120
赤仁田	窪田 茂	296-6062
上与倉	窪田 和洋	296-5662
田之尻	中馬 三志	296-6193
永野	地頭所正征	296-4179
今観龍	馬籠 君夫	296-5175
平鹿倉	馬籠 敦男	296-3870
日添	田中 安男	296-6136
荳口	田原 久志	296-5766
瀬谷	榊 秀徳	296-2684
助代	坂口 正視	296-2197
上和田	田中 司	296-5353
中和田	田中 秋盛	296-5796
下和田	榎木 眞朗	245-1201
荳岡	下窪 秋男	296-5990
入来	西園 一幸	296-5712
西原	中村清一郎	296-2399
入来浜	堀切 茂正	296-3633

自治会名	自治会長名	電話番号
今田	原田 和治	296-5073
小永吉	赤井田 繁	296-4960
原園	安藤 道也	297-2014
上草田	徳満 平吉	297-2837
中草田	賀川 茂一	090-6773-2767
下草田	畠中 達男	299-3550
浜田中	栄福 弘喜	299-2031
浜田後	畠中 貞治	299-3123
天昌寺	久保あみ子	297-2366
川久保	恒吉 英治	297-2514
永吉中和田	久保園昌幸	299-3535
新川原	甲斐 安城	297-2587
榎下	進藤 正廣	299-3127
永吉ふもと	千田 広行	297-2064
梅里下	胸元 光盛	299-3431
梅里	上谷 辰次	299-3401
七呂	前田 睦則	297-2051
印口	今屋えつ子	299-3258
鍋谷	山口 操	299-3428
松下	井前 利行	299-3314
坊野	高田 正光	297-2640

# 平成18年度 バランスシート

(平成19年3月31日現在) 人口52,206人

(単位:千円)

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】(市が保有している資産)</b>		<b>【負債の部】(将来返済しなければならない債務)</b>	
<b>1. 有形固定資産</b>		<b>1. 固定負債(1年を越えて返済する額)</b>	
(1) 総務費(庁舎など)	6,194,135	(1) 地方債	31,924,895
(2) 民生費(保育所など)	1,942,019	(国や銀行から借り入れしている額)	
(3) 衛生費(クリーンセンターなど)	5,041,452	(2) 債務負担行為(将来支払う義務のあるもの)	
(4) 労働費	0	① 物件の購入等	0
(5) 農林水産業費(農道、用水路、港など)	7,768,347	② 債務保証又は損失補償	0
(6) 商工費(温泉など)	907,057	債務負担行為計	0
(7) 土木費(道路、公園など)	42,049,034	(3) 退職給与引当金	4,609,699
(8) 消防費(防火水槽、消防自動車など)	1,467,852	(市職員が仮に全員退職した場合の退職金)	
(9) 教育費(幼稚園、小学校、中学校など)	23,266,861	<b>固定負債合計</b>	<b>36,534,594</b>
(10) その他	556,729		
計	89,193,486	<b>2. 流動負債(1年以内に返済する額)</b>	
(うち土地)	16,956,160)	(1) 翌年度償還予定額	3,286,671
<b>有形固定資産合計</b>	<b>89,193,486</b>	(2) 翌年度繰上充用金	0
<b>2. 投資等</b>		<b>流動負債合計</b>	<b>3,286,671</b>
(1) 投資及び出資金(水道事業等への出資金)	731,216	<b>負債合計</b>	<b>39,821,265</b>
(2) 貸付金(各種貸付制度の貸付残高)	42,629	(住民一人当たりの負債額)	763)
(3) 基金		<b>【正味資産の部】(これまでの世代が負担したもの)</b>	
① 特定目的基金	334,793	<b>1. 国庫支出金</b>	<b>12,769,414</b>
(公共施設建設などの特定目的のための基金)		(建設などに使われた国のお金の累計)	
② 土地開発基金	703,901	<b>2. 都道府県支出金</b>	<b>5,800,059</b>
(公共事業のための土地などを先行して取得するための基金)		(建設などに使われた県のお金の累計)	
③ 定額運用基金	179,648	<b>3. 一般財源等</b>	<b>37,944,829</b>
(奨学金貸付などの目的のため定額資金を運用するための基金)		(建設などに使われた市税などの累計)	
基金計	1,218,342	<b>正味資産合計</b>	<b>56,514,302</b>
(4) 退職手当組合積立金	913,524	(住民一人当たりの正味資産額)	1,082)
<b>投資等合計</b>	<b>2,905,711</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>96,335,567</b>
<b>3. 流動資産</b>		(住民一人当たりの負債・正味資産額合計)	1,845)
(1) 現金・預金			
① 財政調整基金	2,689,526		
(年度間の財源の不均衡を調整するための基金)			
② 減債基金	385,820		
(市債償還に備えるための基金)			
③ 歳計現金	853,134		
現金・預金計	3,928,480		
(2) 未収金			
① 地方税	280,061		
(市税などのうち翌年度以降に収入する見込みのもの)			
② その他	27,829		
(国庫補助金などのうち翌年度以降に収入する見込みのもの)			
未収金計	307,890		
<b>流動資産合計</b>	<b>4,236,370</b>		
<b>資産合計</b>	<b>96,335,567</b>		
(住民一人当たりの資産額)	1,845)		

※債務負担行為に係る補償等 ①物件の購入等に係るもの 53,273千円(本表に計上したものを除く)  
 ②債務保証及び損失補償に係るもの 745,500千円(本表に計上したものを除く)  
 ③利子補給等に係るもの 35,856千円

※退職給与引当金の計算方法は普通退職の支給率に基づくものとする。

## 資産総額は963億円 負債総額は398億円

# 市の資産や負債などのストックに関する情報 バランスシート(貸借対照表)を作成しました

### 作成の目的

現行の地方公共団体の会計制度は、単年度の現金主義となっており、従来の財政分析は、単年度の現金の収支を中心としています。本市では、行財政改革推進のための一つの分析資料として、また、財政状況を積極的に情報提供をすべきことから、平成十八年度末時点の普通会計ベース(一般会計にいくつかの特別会計を加えたもの)のバランスシート(貸借対照表)を作成しました。バランスシートは、決算書だけでは把握することが困難な現在までの積み上げられた資産や負債等の状況を明らかにし、これまでの市民負担や将来の市民負担といった世代間の負担も把握できるように、本市の状況や特徴を分析することで、健全な財政運営のための資料としても活用できるようにあります。ただし、地方公共団体の公有財産台帳には、保有財産の評価額が記載されていないため、民間企業が作成するバランスシートとは資産の積算方法が異なります。

### 作成の前提条件

総務省の「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会」が、平成十二年三月に「普通会計のバランスシート作成マニュアル」を公表しており、これに基づき、昭和四十四年以降のデータが整備されている地方財政状況調査(決算統計)をもとに作成しました。

(一) 対象会計範囲 普通会計(一般会計、飲料水供給施設特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計を純計したもの)  
 (二) 作成基準日 平成十九年三月三十一日  
 (三) 基礎数値 電算処理された昭和四十四年以降の「地方財政状況調査表」を基礎数値として作成した。

### バランスシートの分析

バランスシートによると市が保有している資産の総額は九百六十三億円、負債が三百九十八億円、正味資産が五百六十五億円となっています。資産の内訳は、ほとんどが道路や学校などの社会資本整備の結果を示す有形固定資産(減価償却後)八百九十二億円で資産総額の九二・六%を占め、投資等二十九億円(投資及び出資金、貸付金など)残りが現金及び預金や基金未収金など四十二億円となっています。有形固定資産のうち土地は、一九・〇%を占めています。

負債の内訳は、一年を超えて返済しなければならない固定負債が三百六十五億円、一年以内に返済しなければならない流動負債が三十三億円となっており、負債の合計は三百九十八億円となっています。

正味資産の内訳は、国や県からの補助金が百八十六億円、市独自の財源である市税などの一般財源が三百七十九億円となっています。なお、負債・正味資産合計のうち正味資産は、五八・七%を占めています。

平成18年度	
資産 963 億円 (184 万円)	負債 398 億円 (76 万円)
	正味資産 565 億円 (108 万円)

( ) 書きは市民一人当たり

### 【用語説明】

資産	資産とは、将来にわたり公共サービスを提供できる価値のこと(後世代の受けることのできるサービス)
負債	将来返済すべき債務のこと(将来の市民の負担額)
正味資産	資産と負債との差額のこと(これまでの市民の負担額)



▲上土橋棒踊り

**伝統の踊りを奉納**  
 上土橋・郡地区・飯牟礼地区で棒踊り

伊集院地域に伝わる伝統の棒踊りが上土橋・郡地区・飯牟礼地区で奉納されました。この踊りは五穀豊稔や家内招福などを祈願して毎年行われています。

上土橋地区では、勝護院で四月二十七日、地区内の小・中学生十五人が勇壮な踊りを奉納した後、勝護院前広場で地区住民に披露されました。

郡地区では、五月五日小雨の振る中、中・高校生三十四人が九玉神社に奉納。

踊り手たちは、その後、新築や初節句の家庭など約五十カ所を回り、伝統の踊りを披露しました。

飯牟礼地区では、地区内の上



▲飯牟礼(上)虚無僧踊り

(虚無僧踊り)・中(棒踊り)・大下(鎌踊り)の三集落から青年や中・高校生が参加し熊野神社に奉納しました。

当日は、飯牟礼上のしべ竹が折れてしまうというハプニングもありましたが、踊り手は勇壮な踊りを披露し、つめかけた見物客を楽しませていました。



▲郡棒踊り

お田植え祭り「せつべとべ」

せつべとべ チヨシチヨシ

日吉地域に四百年前から伝わるお田植え祭り「せつべとべ」が六月一日、日置八幡神社、吉利鬼丸神社で開催されました。吉利鬼丸神社では神事のあと

白装束の二才衆が神社下の御神田へ入り、肩を組み輪になって「せつべとべの唄」を歌い全身泥だらけになりながら「チヨシチヨシ」と声をかけ飛び跳ねました。日吉支所のALTのシャローットさんもイギリスの友人と一緒に参加し、泥だらけになりながら日本でも珍しい伝統文化を楽しんでいました。

また、日置八幡神社では神事の後大王殿とみこしを先頭にお



下り行列が御神田へ向かいまじした。

しべ竿は地区の看板、倒れなように泥だらけになりながら走り回る二才衆に見物人の歓声が上がり声援が飛び交います。中には走りすぎてすっかり疲れこんだ二才衆に燃料(焼酎)補給をしている様子が観客の笑いを誘っていました。

日置八幡神社前では「せつべとべイベント」が行われ吹上青松太鼓や地元舞踊同好会の日舞、神事で奉納された地域の伝統の



踊りが披露されました。飛び入り参加の日吉地域女性団体の皆さんが小松帯刀太鼓を披露、篤姫・小松帯刀・幾島・西郷どんまで飛びだしユニークな姿に会場は大笑いでした。

また、日吉運動公園弓道場では、「せつべとべ射会」が行われ練習の成果を競い合いました。なお、大河ドラマ「篤姫」ゆかりの小松帯刀公墓所参拝などをかねて県内外から多くの観光客が訪れ日吉地域は終日にぎわいました。

ひおきに幕末明治維新をたずねる

観光スタディツアー

大河ドラマ「篤姫」の放送で、日置市を訪れる観光客への分かりやすい案内の手法を学ぼうと五月十一日、研修ツアーを開催。日置市ボランティアガイドや市職員など二十三人が参加しました。

NPO法人かごしま探検の会の東川隆太郎氏を講師に迎え、幕末から明治維新期に活躍した小松帯刀らが眠る園林寺跡や薩摩藩の財政改革を成し遂げた調所広郷の招魂墓など大河ドラマに登場する人物にゆかりのある史跡を訪ねました。

大河ドラマ放送開始直後から



▲メモを取る参加者ら(日吉町園林寺跡)

日置市には小松帯刀らに関する問合せが多く、園林寺跡など休日には多くの観光客が訪れ、現在「小松帯刀を守る会」を中心に、ボランティアガイドが案内の対応をしています。

参加者からは「市内には魅力のある史跡が多い。今回のツアーをきっかけに市全域を案内出来るよう努めたい」などの声が聞かれました。

今後多くの観光客が日置市を訪れることが予想され、ボランティアガイドの活躍が期待されています。

江口の魅力をまるごと

第十六回ふるさと港まつり

江口漁港(東市来)で五月三日、ふるさと港まつりが開催され、一万三千人の来訪者で賑わいました。

魚のつかみ捕りや物産即売、漁船乗船体験、ステーション、抽選会など様々な催しで、来訪者は大型連休の一日を楽しみました。

今回は江口蓬菜館リニューアルオープン記念で、バシヨウカジキ秋太郎五本(通常二本)が当たるとあって抽選会は大盛り上がりとなりました。



▲大物をゲット



▲多くの来訪者でにぎわいました

豊作祈願



**萩・伊勢神社奉納棒踊り**  
 萩・伊勢神社(東市来)にて五月四日、棒踊り、庭狂言(あとやま)が奉納されました。

この神社は、一五九〇年に三重県の伊勢神宮からご神霊を勧請され、二百年前から踊りが伝承されています。

毎年、五月三日に奉納されましたが、今年から五月の第一日曜日に実施することになりました(日曜日が三日であれば四日に奉納)。

同地域の自治会、萩、田代、梅木、北山、銚之原の棒踊りや萩の青壮年部による、庭狂言(あとやま)など多様な踊りが披露され、多くの踊り手や見物客でにぎわいました。

### 交流事業の継続と、より二層の相互理解を進めたい

日置市と韓国・南原市文化交流友好協力協約

一五九八年、豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に朝鮮から美山に移り住んだ陶工たちの威徳を偲び、一九九八年に旧東市来町で開催された薩摩焼四百年祭を契機に日置市では大韓民国南原市と交流を続けています。この縁で五月一日開催された、南原市伝統の祭りである「春香祭」の開幕式典に宮路高光市長、畠中實弘市議会議長が招待されました。今回で七十八回目を数える「春香祭」は韓国の純愛物語をテーマとし、期間中に五十万人の人手でにぎわう南原市最大のイベントです。

開幕式に先立ち、南原市役所にてチェ・ジュンゲン南原市長と宮路高光日置市長が「文化交流友好協力協約書」を交わし、今後の交流事業の継続について相互確認しました。

また、宮路市長は今年十一月に開催される「美山窯元祭り」に南原市長を招待したいとも話しました。

開幕式では、日置市名誉市民である第十四代沈壽官さんに対して、南原市名誉市民の称号も授与されました。



日置市と南原市文化交流友好協力協約の締結式典



園児に対する交通安全指導

### 交通安全教室の開催

園児に対する交通安全指導

園児の交通に関する知識やマナーを習得させ、事故ゼロを目指す指導することがねらいで四月二十五日、吹上中央幼稚園グラウンドにて中央幼稚園・中央保育園児三十四名合同の交通安全指導が開かれました。

大園貴文理事長のあいさつの後、日置警察署吹上交番の警察官から「道路を渡る時は、止まって左右をしっかり確認し手を挙げて横断しましょう」と説明を受け、早速準備してあった信号機にしたがって横断歩道の渡り方を学びました。

最初は、戸惑いながらの横断でしたが、警察官や地域交通安全活動推進委員さんたちの指導もあり、右手に横断旗を持ち、まっすぐに挙げて左右を確認して渡れるようになりました。

ドライバールの皆さん、くれぐれも安全運転に心がけてください。



交通安全指導の様子

### ウミガメ保護活動への協力を

ウミガメ保護パトロール開始式

平成二十年度ウミガメ保護パトロール開始式が五月二十三日、吹上中央公民館で関係係二十四団体約四十人が出席して行われました。

県環境保護課長の「鹿児島がカメのふるさとであり、砂浜を守っていただきより多くのカメが上陸することを期待しています」というあいさつのもと、各団体代表者にウミガメ保護監視員腕章の授与がなされ、早速パトロールに出発しました。

日置市においては、昨年度百二頭の上陸が確認されており、年々減少傾向にあるようです。

要因は色々あると思われませんが、ウミガメが安心して上陸、産卵できる環境づくりに努め、絶滅の恐れのある貴重な野生生物であるウミガメ保護活動への取り組みを積極的に推進していくことが、私達の役割であると思います。

### 家庭用品バザー



地域内の皆様から提供いただいた家庭用品のバザーが五月十日、Aコープ日吉店の駐車場で開催されました。

これは、日吉地域婦人会の主催で行われるもので、天候にも恵まれ、多くの買い物客でにぎわい、昼前にはほとんどの商品が売り切れました。

今回は、ワークセンター梅の里（通所授産施設）の皆さんが、

日吉地域婦人会連絡協議会

かねて一生涯懸命工作された作品も展示即売ということで、なれない接客に挑戦しました。

日吉地域婦人会連絡協議会会長の諏訪免順子さんは、「リサイクルの観点から環境と人にやさしい活動の一助になればと考えています」また、収益金は、今後のボランティア活動の資金にするとのことです、さらなる活動への意欲を熱く話されました。



市荒茶品評会

### 良質茶めざし生産加工技術競う

市荒茶品評会

- 二位 西山製茶 (伊集院)
- 三位 (有)東製茶 (東市来)
- 生産者の部
- 一位 折田 学 (伊集院)
- 二位 沖 広 (東市来)
- 三位 重水 勉 (東市来)

### 満4歳になりました

ひまわり館誕生祭

日置市農産物直売所「ひまわり館（吹上）」の四周年誕生祭が、四月二十七日同館で開催され、終日家族連れなど買い物客でにぎわいました。

イベントの内容としては、店内商品が五割引きとあって中には両手に持ちきれないほどの買い物客をされる客、またレジには長い行列ができるほどでした。

店外では同館の近くの県立農業大学校による農産物の販売や、地区民によるもちつき大会があ

りつきたての餅も振る舞われました。

また、和田小学校児童による竹太鼓の演奏もあり誕生祭を盛り上げていました。

一方、地区役員の方々は駐車場の誘導や案内など汗だくになりながら誕生祭を支えています。

今後、同館がさらに多くの人でにぎわうことを期待したいものです。



農産物直売所の様子

市茶業振興会主催の荒茶品評会が五月二十三日、さつま日置農協茶研修センター（伊集院町飯牟礼）で行われ、加工者の部に二十五点、生産者の部に二十四点が出品されました。

今年が一番茶は、寒さや霜の影響などもあり、価格は低迷しているというのですが、県農業開発総合センター茶業部や県地域振興局農林普及課、県経済連茶業事業部、JASあつま日置の担当者が、外観審査の後お湯を注ぎ内質（水色、香气、滋味）などを審査しました。

結果は次のとおりです。

(敬称略)



加工者の部

### 音楽を通じて安心安全を

警察音楽隊ふれあいコンサート in 伊集院



▲警察音楽隊

鹿兒島県警察音楽隊安心安全ふれあいコンサートが五月十七日、伊集院文化会館で開催されました。

出演団体は、日置市ジュニアオーケストラ、伊集院幼稚園、伊集院小学校、土橋小学校、伊集院北中学校、警察音楽隊とアウグスト・オソリオさん、大内山真紀子さん。

第一部の、日置市ジュニアオーケストラに始まり、第二部の迫力満点の警察音楽隊の演奏が会場を訪れた、たくさんのお客様を魅了しました。



▲日置市ジュニアオーケストラ

楽長（指揮者）の中島暢宏氏は東市来出身。

音楽隊は、昭和二十三年に発足し今年で六十周年を迎えますが、多忙な職務に取り組み傍ら、音楽を通じて犯罪や交通事故のない安心・安全な明るい社会を目指して、ミュージックパトロールを行っています。

### 九電大田発電所本館が登録有形文化財に

登録有形文化財の登録証及びプレート伝達式



伊集院町大田の九州電力大田発電所が、国の登録有形文化財に三月十九日に正式に登録され、五月八日に日置市役所で登録証の伝達式が行われました。

宮路市長が、九州電力鹿兒島支店の梶原正博支店長に登録証を、同支店の社員にプレートを渡しました。

宮路市長が「大事に守っていただいたことに感謝します」と述べると、梶原支店長は「価値を損なわないよう守りたい」と応えました。

大田発電所本館は明治四十一（一九〇八）年に島津家によって建設された石造り平屋の水力発電所で、今年で築百年になります。壁面には島津家の家紋「くつわ紋」が刻まれ、多角形の塔がついた特徴のある造りです。



伊集院町長と宮路市長ら

### 世代を越えた交流会

子育て支援センター

日置市子育て支援センターが主催する「徳重地区のすこやか」とつしげ会の方二十人と、親子十五組、十八人の交流会が五月十四日、あづま保育園（伊集院）で行われました。



交流会の様子



交流会の様子



交流会の様子

### 婦人会員が元気に交流

市婦連ラウンドゴルフ大会

日置市地域婦人会連絡協議会ラウンドゴルフ大会が五月二十五日、東市来総合運動公園で開催されました。

本大会は、市内の婦人会員の融和を図る目的で、日置市が誕生した平成十七年度から開催しており、今年で四回目。

当日は、前日までの雨がうそのように晴れ渡り、参加した百六十人の会員はハツラツとした

プレーを展開していました。

この大会をスタートに、今年度も日置市の婦人会は、地域や集落において、女性の知恵と実践力を生かした活動に積極的に取り組みます。

結果は次のとおりです。敬称略  
団体の部 優勝 東市来さわやかチーム  
個人の部 優勝 山之内 幸子（吹上）

### スピードあふれるプレーで熱戦

チエスト小鶴ドーム杯フットサル大会

チエスト小鶴ドーム杯フットサル大会が五月十八日、同ドーム（伊集院）で開催され、市内外から二十チームが参加（A、Bクラスとも十チーム）。リンクトーナメント方式で熱戦を繰り広げました。

試合は八分のハーフゲームで、行われ、スピード、闘志ともに、あふれるプレーの連続となり応援に訪れた観客を沸かせました。各クラス優勝チームは次のとおりです。  
Aクラス Fukkyage  
Bクラス いけず



江口浜海浜公園（東市来）で五月二十七日、伊作田小全校児童七十七人が総合学習の時間を利用して、サンドアート大会を行いました。

各学年混合の六班が、地元伊作田の特産や北京オリンピックなどをテーマに、趣向を凝らした砂像を制作しました。

永山哲君（六年）は「砂を盛り上げるのが大変だった。顔を貝殻で描いて、できればは上出来」と、出来上がったねんりんピック（十月開催予定）のキャラクター「さくらじまん」の砂



▲真剣な表情で飾り付け中

### スポーツを通して体力の維持増進を

身体障害者スポーツ大会

市身体障害者スポーツ大会が五月二十三日、ゆすの里体育館（伊集院）で行われました。

今年で三回目となるこの大会には、約百人が参加。選手を代表し昨年度優勝の伊集院チームの松尾利博さんが「身体障害を克服し、本大会に参加できたことに喜びと誇りを持ち、あせらず、ケガをせんこつ、おもしろく、おもしろく競技することを誓います」と選手宣誓を行い、競技がスタートしました。

市内四地域で行われるこの大会は、びん倒しや、スプリンターなど七種目で競われ、参加者は、各地域の声援を受けながら精一杯プレー。優勝は伊集院地域となりました。







ギャラリー  
私の作品展  
『押し花』

濱崎 和子さん [東市来町神之川]

「押し花講座」講師の濱崎さんは、とにかく花が好きで、このきれいな花を押し花にしたらどうなるんだろうと思ったのがきっかけで始めました。「押し花は、四季折々の植物や果物、野菜等なんでもできます。始めての方でも決して難しくありませんので一人でも多くの方が仲間になって楽しんでいただければ」また、「コンクールに出品して入選するとうれしい。そういうのも伝えてあげたいです」今後の目標は、将来個展を開けたらいいなど。これからも、たくさんの方に「押し花」の楽しさを伝えていきたいですね。



ウォッチまの文化財 37

ろくだいもくぞう  
六代木像 (日吉地域)

幕末に活躍した小松帯刀 (たてわき) (1835～1870) は、吉利郷 (日吉地域南部) を領地とする小松家の当主でした。吉利の清浄寺本堂に、小松家の祖先とされている六代の木像 (高さ40cm) が安置されています。この木像は元禄年間 (1688～1704) の作製と伝えられています。

六代は平清盛の孫維盛 (まごこれもり) の長男でした。平家は文治元年 (1185) に源氏に滅ぼされますが、六代は命を助けられ仏門に入ります。しかし、後に事件に巻き込まれ、処刑されました。

六代の息子の清重は、六代の懇願によって禰寝院南俣 (ねじめいんみなみまた) (現在の南大隅町と錦江町の一部) の地頭になり、赴任したと伝えられています。清重は領地にちなんで「禰寝」を名のり、禰寝家初代当主清重になったとされています。

文禄4年 (1595) に、禰寝家17代当主重頼は禰寝院から吉利に移され、吉利領主になりました。享保19年 (1734) に24代当主清香は、「禰寝」の姓を平家にゆかりのある「小松」の姓に改めました。小松帯刀 (たてわき) は、初代清重から数えて29代目の当主でした。

〈引用参考文献〉  
『日吉町郷土史 上巻』

Access 日吉支所から車で5分



ぼくの将来

上市来小学校六年

みなさき 峯崎

りょうた 亮太くん

ぼくの将来の夢は、消防士になることです。  
ぼくが、消防士という仕事を知ったのは三年生のころテレビのドラマの中で知りました。いや、友だちによると、保育園の時から言っていたというんです。  
なぜ消防士にあこがれるかと言うと、ぼくは、元々乗り物が好きでよく本を見ていて、その中でも特に消防自動車が好きでした。また、人を助けるレスキュー隊

など、テレビでよく観るけど、それが格好よくて、それから人の役に立つ仕事だからです。  
ぼくは今、剣道スポーツ少年団に入っています。剣道は、暑さ寒さ知らず、一番精神がきたえられ、体も強くなると思います。正に消防士になるのにピッタリだと思うから入ったのです。  
これからも、ぼくは消防士という夢に向かって、勉強にスポーツにがんばっていきます。

シリーズ 37

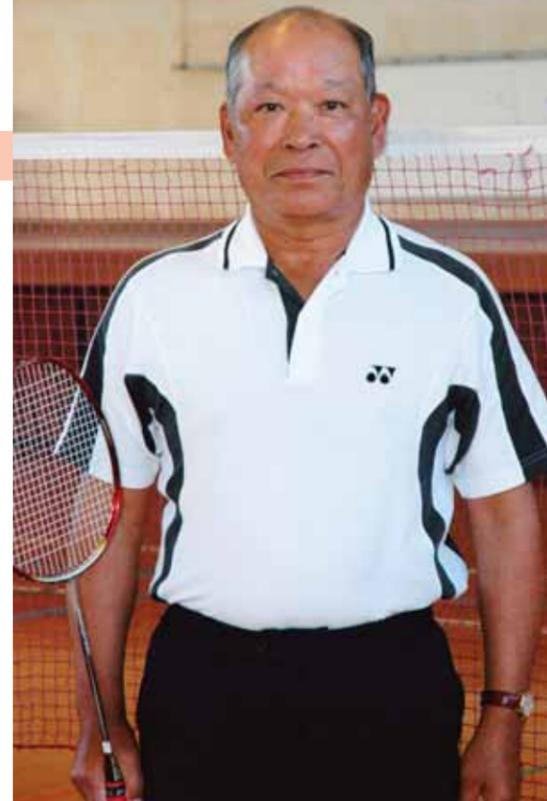
いきいき

ひと



「生涯現役です」と話す三嶋さんは、自衛官として三十三年間全国各地で勤務され平成八年に伊集院町へ移住して来られました。スポーツが好きでバドミントンやグラウンドゴルフ、ウォーキングも毎日一万歩を目標に歩いています。特にバドミントンの経験は四十五年と長く、日置市内最高齢のプレーヤーです。  
現在は伊集院地域バドミントン部に所属し、持ち前のパワー、スピード、熟練した技巧を活かし高校生とも互角にプレー。練習を通して健康、体力維持と交流を目的に汗を流し、毎年日置地区体育大会に出場。五十六歳以上の部で活躍しています。同部では中心的な役割を担い会長も務めました。  
また、平成十六年にはバドミントンの普及に向けて、伊集院バドミントン少年団の発足にも貢献、小学生五十三人が入団し、週一回子どもたちの指導にあたりました。「この年は団の体制づくりや指導方法など、手探りの状態からの出発でしたが子どもたちと会うことが楽しくて、全然苦になりませんでした」と笑顔で話します。  
三嶋さんの元気の源は、「とにかく体を動かすこと。毎年指宿市で開催される「菜の花マーチ」には、八年連続参加。今年は「吹上青松ジョギング大会」にも参加しました。  
また、昨年の夏は、日本アルプスの駒ヶ岳登山もしました」と常に行動しています。  
「これからも、スポーツや趣味のウォーキングなどを通して幅広い仲間との交流を楽しみながら、地域のために少しでも貢献できたら」と話します。

スポーツを通して幅広い仲間との交流



みしま ゆきのり  
三嶋 幸徳さん [72歳]

伊集院町妙円寺 (妙円寺7区自治会)

●H15～H16伊集院町バドミントン協会会長



まほ 立宅 真歩ちゃん (1歳3か月)

父 広寿さん 母 かおりさん (日吉町日置)

■おとうさんから  
やさしくて、まっすぐ元気に育ってください。



はるな 下野 遥愛ちゃん (2歳6か月)

父 彰久さん 母 やよいさん (吹上町今田)

■おかあさんから  
女の子らしくやさしく育ってね。

元気のある  
お子さんの写真を  
募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん  
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんのコメント  
⑥広報へのご意見⑦連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は  
未だまで送ってください。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,278人(△1)  
男 24,446人(△2)  
女 27,832人( 1)  
世帯数 22,460 ( 4)  
6月1日現在( )は前月比

市の面積 253.06km<sup>2</sup>

今月の表紙



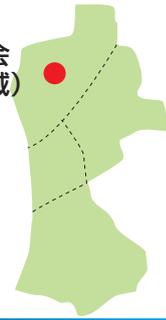
楽しみに田を踏みならす「せつべとべ」  
白装束姿のせつべとべ衆。焼酎を飲みながら「チョシ、チョシ」と声をかけ、歌に合わせて肩を組み、威勢よく飛び跳ね、今年の豊作を祈願しました。  
(6/1お田植祭り「せつべとべ」P10関連記事)

No.38 平成20年6月号

発行/日置市役所  
総務企画部企画課  
〒899-2592  
日置市伊集院町第一丁目100番地  
TEL 099 (273) 2111  
FAX 099 (273) 3063  
東市来支所  
TEL 099 (274) 2111  
日吉支所  
TEL 099 (292) 2111  
吹上支所  
TEL 099 (296) 2111  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

わが地域

大平自治会  
(東市来地域)



大平自治会は、湯之元駅から東へ約四キロメートル、東市来支所から北東へ約四・一キロメートルに位置し、豊かな自然に囲まれた地域には、平成二十年六月一日現在で三十九世帯、百九人が暮らしています。  
少子高齢化が進む地域ですが、地域住民の誰もが参加できる活動や、自然を活かした道端農園などがあり、地区外の方でも気軽に立ち寄れる地域です。



▲集落運動会



▲協田敏秋会長

大平自治会(東市来地域)  
自然を活かし住民相互の融和を図る

自然に囲まれた大平自治会は少子高齢化の進む地域ですが、総務部、文化部、経済産業部、体育部、女性部で構成し、自治会活動は地域全員が参加できるように心掛けています。  
地域を活性化させるため、コスモスによる活性化事業を導入しようと平成十五年に鹿屋市串良町の柳谷公民館まで研修に行きました。そして、地域住民以外の方にもいつでも来ていただけるように道端農園、平成十八年からはワラビ園もやっています。また、地区内の希望者に巨大カボチャの種を配布、五月に植え付けし、十月に巨大カボチャコンテストを開催。このコンテストには、たくさんのかぼちゃが出品されます。  
さらに、この地区の高台に登ると東シナ海や桜島が望めることから、平成十九年から桜



▲高齢者ふれあい交流会でのソバ打ち

島大根コンテストを開催しようと桜島まで種の買い付けに行きました。  
九月に行われる高齢者とのふれあい交流会では、各部がいつしよになり毎年ソバ打ちをし、高齢者に振る舞っています。  
このほかにも道路清掃奉仕作業や地域の親睦を図るための花見、集落運動会、鬼火焚き、健康増進のための女性部による健康づくり教室、グラウンドゴルフ大会等も行っています。また、この自治会では伝統芸能として棒踊りがあります。

この棒踊りは、六尺棒と三尺棒との打ち合わせによる、二つの踊りが伝承されており、毎年小学生から青壮年により伊勢神社に奉納しています。  
これからの活動としては、高齢化で人口が減っていく中、限られた方だけでなく、「地域全員が楽しんで参加できるような活動を増やし活力ある明るい地域」を作って行きたいです。また、少しでも地域外の方に来て頂けるような活動も取り入れて地域を活性化して行きたいです。



▲巨大カボチャコンテスト